

NPO 法人「外国から来た子ども支援ネット くまもと」

2017年度 活動報告

活動内容

NPO 法人「外国から来た子ども支援ネット くまもと」では、外国にルーツを持つ子どもたちを対象に、以下の4つの活動を行っています。

① 日本語指導



② 進路サポート



③ 仲間づくり



④ 学習支援と居場所づくり



- 1) おるがったステーション
- 2) 非漢字圏から来た生徒のための漢字学習会
- 3) ひだまり日本語教室

① 日本語指導「くまもとこどものにほんご」

委託自治体数

8自治体

児童生徒数

41名

2017年度は、合志市、宇土市、山鹿市、菊池市、玉名市、菊陽町、大津町、美里町の8自治体から日本語指導委託を受けました。また、委託児童生徒（2018年3月現在）は41名でした。ルーツは、中国、アメリカ、フィリピン、インド、パキスタン、イラン、シリア、日本（海外帰国生徒）です。

小中学校で日本語指導が行われている
熊本県の自治体1) NPO 法人「外国から来た子ども支援ネットくまもと」
がこれまで委託を受けた自治体（計13自治体）

菊池市、合志市、大津市、宇土市、宇城市、山鹿市、玉名市、
菊陽町、大津町、益城町、山都町、美里町、津奈木町、南阿蘇村

2) 市独自で日本語指導を実施している自治体（計2自治体）

熊本市、八代市

以前は中国ルーツの子どもたちが大半を占めていましたが、ここ最近はフィリピンをはじめとし、様々な国のルーツを持つ子どもたちが増えてきました。

また、活動当初は来日したばかりの子どもたちに日本語の基礎を教える「初期指導」がメインでしたが、最近ではダブルリミテッド（2つの言語どちらも年齢相応の言語能力がっていない状態）の指導も増えてきました。

これは、学校の先生方の外国ルーツの子どもたちに対する問題意識が高まり、言語的な問題が学習に支障を来しているという認識が広まったことが大きな理由だと考えています。当NPOや熊本・外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会で行っている「学校の先生向けの研修会」の成果とも言えます。

2018年度からは、人吉市、南小国町でも日本語指導を開始する予定となっており、当団体の委託自治体は15自治体となりました。



①-2 外国ルーツの子どもへの日本語の教え方講座

日本語支援が必要な子どもは、来日直後で日本語が分からないまま学校生活を送る子ども、日本生まれでも読み書きにハンディを持つ子どもなど様々です。来日背景、母語、年齢、家庭環境、漢字圏からの来日かどうかなどの要因を踏まえ、教え方にも工夫が必要になります。当団体では、それぞれの学校や地域教室で日本語支援に関わっている方々にお集まりいただき、知恵を出し合う機会を3回の講座形式で実施しました。



●カリキュラム

第1回 (2017/9/30)

「外国ルーツの子どもたちの現状と日本語初期指導」

第2回 (2017/11/25)

「外国ルーツの子どもたちの言語力と学習言語」

「ダブルリミティッドについて」

第3回 (2017/12/9)

「漢字の教え方」「指導実践例の共有」

講師の先生のテクニックを教わり、とてもためになりました。熊本にも支援が必要な子がたくさんいるのだなと感じました。(小中高教諭)



教科書を使用しながら実践することができたため、とても勉強になりました。子どもそれぞれに合った対応が必要なことを痛感しました。(大学生)



②進路サポート

2017/7/9

「第12回 外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」を開催！

2017年7月9日に、第12回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンスを開催しました。外国ルーツの子どもたち及びその保護者の中には、日本における外国人生徒に対する高校進学システムを知らないことにより、望むような進学が出来ないケースが発生しています。今回も16名の中学生と保護者の方を中心に、たくさんの方にご参加をいただきました。また、多くの学校関係者の皆様にもご協力・ご参加いただきました。これにより学校の教育現場における「外国ルーツの子ども」の進学指導に対する理解がより促進されることを期待しています。

実施内容

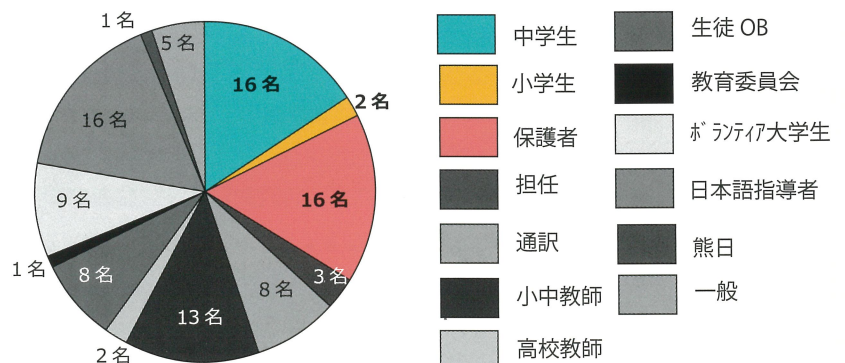
第1部 高校入試の制度・学費・奨学金の説明

第2部 先輩や保護者の体験談共有

第3部 個別相談（その場で高校や中学校の教師や先輩に相談）

参加人数 **100** 名

< 参加者内訳 >



< 参加者の声 >

これからの進路のために必要なことがたくさん説明されていてとても助かりました。今までわからなかったことや、心配だったことが解決されて安心しました。(中学生3年生)

何もわかっていなかったので、子どもの高校進学のために大変参考になりました。これから色々調べたり、教えていただいたりしながら、進学のサポートしていきたいです。(保護者)

③ 仲間づくり

2018/3/24~25

「第11回九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと」を開催！

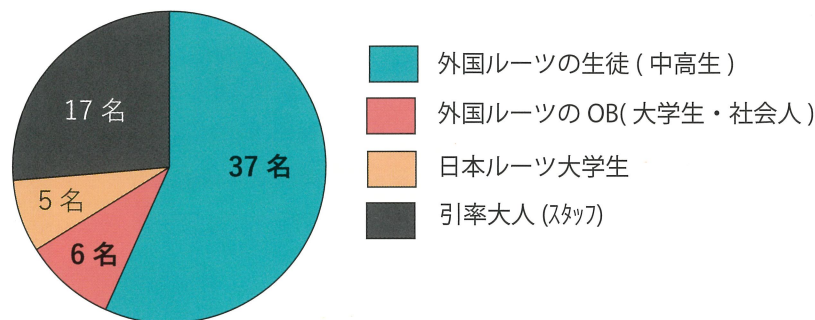
2018年3月24～25日に「第11回九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと」を開催いたしました。外国にルーツを持つ子どもたちは、各地に点在しており、異文化の中、言葉のわからない状況で自分の想いを理解してくれる友人を作ること難しく、精神的に孤立している生徒が少なくありません。同じ立場の生徒たちが、共に集い、お互いの夢や悩みを共有し、自身の存在に誇りを持つきっかけになるように、毎年この交流会を企画しています。また、さまざまな立場で子どもたちと関わっている大人も集まり、情報交換をする場となっています。今年度は佐賀県、宮崎県、大分県からの参加もあり、交流の輪を広げる貴重な機会となりました。

開催趣旨

- 1) 熊本県内に散在している外国ルーツの生徒の悩みや進路の相談ができるネットワークづくりや仲間づくりの場
- 2) 外国ルーツの生徒を担当している学校の担当者や日本語指導者の情報交換
- 3) 九州全体で外国ルーツの生徒たちや支援者のネットワークづくり

参加人数 **72** 名

< 参加者内訳 >



④ 学習支援と居場所づくり

1) 「おるがったステーション」

「おるがった」は熊本弁の「私たちの家」の意味です。「ステーション」=「帰るところ」という意味も込めて名づけられた、外国ルーツの子どもたちの学習の場です。

来日直後の子どもたちには、日本語の初期指導をし、初期指導が終了している子どもたちには、学校の授業の内容を中心に国語や算数(数学)などの各教科の学習サポートを行っています(宿題のサポートを行うこともあります)。10~15名の子どもたちと、サポーター7~8名がほぼ毎週参加しています。

- 学習会 @ 熊本市国際交流会館
毎週日曜日 10時～12時： 中学生教科学習
13時～15時： 小学生教科学習 / 日本語初期指導
- 学習会 @ 事務局
毎週土曜日 13時～： 小中学生教科学習
長期休暇 随時： 小中学生教科学習

2) 非漢字圏からきた子どもたちのための「漢字学習会」2017/10/14(土)

アメリカやフィリピンなど非漢字圏からきた子どもたち向けの漢字学習会です。熊本市国際交流会館にて、当団体の大学生部「@ほーむ」に所属する大学生5名が企画運営をしました。非漢字圏からきた小学生と中学生4~5名が参加し、ゲームなどを交えて、楽しく漢字を学習しました。



3) 「ひだまり学習会」

2015年9月より、毎週水曜日の19時~21時に鹿本市民センターで行っている日本語教室です。サポーター約5名で、10名ほどの学習者に日本語を教えています。

当初は外国にルーツを持つ子どもたちのために無料で始めた当教室ですが、最近では保護者やその友人などの大人の学習者が増えてきたため、2018年度より、山鹿市の方々が主催する地域日本語教室への移行を予定しております。



2018年度活動予定

- ①「第13回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」2018年7月8日(日)
- ②「非漢字圏からきた子どもたちのための漢字学習会」長期休暇中(夏、冬、春) ※日程未定
- ③「第12回九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと」2019年3月23日(土)~24日(日)
- ④「おるがったステーション」
学習会@熊本市国際交流会館 毎週日曜日 10:00~15:30
学習会@事務局 毎週土曜日 13:00~
- ⑤「日本語指導者研修会」 毎月第3土曜日 14:30~16:00

NPO法人「外国から来た子ども支援ネットくまもと」は、外国にルーツを持つ子どもたちの明るい未来を作るために、日本語指導をはじめ、様々な支援を行っています。自治体の委託事業である「くまもとこどものにほんご」以外の、子どもたちの居場所づくり、学習支援に関しましては、多くのボランティアの方々のお力と、皆様のご寄付・ご支援により成り立っております。いただきました寄付金は、子どもたちの学習の場の会場費や、学習教材費などに使わせていただいております。今後とも何卒お力添えをお願い致します。

口座振込寄付をする

ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900)
一七九店 当座 165967
口座番号: 01760-3-165967
「NPO 外国から来た子ども支援ネットくまもと」

クレジットカードで寄付をする

<https://syncable.biz/associate/shiennetkumamoto>



←寄付ページ QR コード

お願い